

○2017 春のそろばんフェスティバル 4/2(日)

第6回目の春のそろばん博物館フェスティバルは千葉県、白井市等30以上の団体の後援のもと開催いたしました。第7回目のはしそろびっく選手権大会、話題の世界初の女流棋士カロリーナさんを迎えたそろばん将棋大会、今年も2体増えて登場したそろばん道祖神をめぐるウォークラリーを柱として地域の人達のパフォーマンス、新進歌手、アイドルグループや高校の活躍、そして多くの出店等でにぎわいました。参加者は約2500名と過去最高の人出となり、新聞社等の取材も目立った一日でした



今年も大抽選でおおにぎわい



将棋の入賞者は実力派



カロリーナ後援会が発足



はしソロは今年も大接戦



妖怪の館は今回も大人気



博物館子供大使も登場です

○そろばん弾き初め

恒例のそろばん弾き初めは1月7日(土)約120名が参加して実施しました。長尺算盤を使って古式豊かに儀式をとりおこないました。後は算盤すごろくゲーム、屋外ではお汁粉、キナコ餅を準備しました。ご近所の方々も見えにぎやかな一日をすごすことができました。

○モンゴルよりそろばん研修

2月3日(金)から10日(金)までモンゴルのネルグイ先生と生徒、保護者5名が来日しました。5日の石戸珠算学園の学園祭への参加とネルグイ先生の教師認定授与式等を含めての一週間でした。現在ネルグイ先生はダルハン市で二か所の学校で指導しています。今回正式に全国珠算連盟の加盟教場としても認定され、検定試験の実施も始まりました。



中央学院大学の学園祭で



白井そろばん博物館で



みんなで日本食を堪能

○ポストフェスティバル銚子 3/19,20(日,月)

3月19,20日(日,月)と銚子市で開催されたポストフェスティバルに参加してきました。これはユニークな丸型ポストで町おこしをするイベント

トで今年で3回目になります。白井そろばん博物館前にも日本に三つしかないレターポストがある関係で毎回出席しています。当館のポストの故郷という縁もあって長野県生坂村との交流もあり今年の春のフェスティバルでは生坂村の特産品の展示販売もしました。



○第8回企画展示〈古そろばん展〉

第8回目の企画展〈古そろばん展〉を4月2日より6月25日まで開催中です。大津、堺、長崎、博多、播州、雲州、名古屋、芸州の産地別の珠玉のそろばんを展示しています。なお、説明文の監修は珠算史研究学会の太田会長にいただきました。

○新しいそろばん道祖神です

4月より新しく仲間入りしました2体の道祖神です。〈菅原道真〉と〈前田利家〉です。どこにあるかお楽しみにしながら白井そろばん博物館においでください。

○新刊書のご紹介です

石戸館長監修による新刊書を紹介します。購入ご希望の方は博物館までお申し込みください。

「伸びる子は土台で決まる」 青月社発行 定価 1,500 円 (税別)

「真元算法」 註解 当館発行 定価 1,500 円 (税別)

○そろばん歴史街道

(16) 算法の研究や四つ珠そろばんを考えた人がいた

安永10年(1781年)、乳井貢が「初学算法」の中で四つ珠ソロバンを使用したほうが良いと唱えたが、当時、割算は帰除法、掛算は尾乘法が一般的だったので採用されなかった。乳井貢は5珠1個、1珠4個以外は使えないようにして算盤を使用したといわれている。



乳井貢掛軸

4月より土曜博物館講座を開始。ご興味のある方はお問い合わせください。

4月29日(土) 記憶力アップ 動物将棋

5月6日(土) 自由講座

5月13日(土) 読上算講座

5月20日(土) 割り算九九講座

5月27日(土) 動物将棋

※5月24日(水) おもしろ脳トレ講座 白井コミュニティセンターにて 13:30から15:00

白井そろばん博物館会員入会・更新申込書

応援会員 お楽しみ会員 ふるさと会員 学生会員 子供会員 平成 年 月 日

お名前		電話番号	
勤務先(学校)		e-mail	
ご住所	〒		

1. 入会資格 小学生以上であればどなたでも入会できます。
2. 入会金 無料
3. 年会費 ○応援会員(法人会員) 10,000 円 ○お楽しみ会員 5,000 円
○ふるさと会員 2,000 円 ○学生会員(高校以上) 1,000 円 ○子供会員 500 円